

第19回羽田再拡張事業に関する県・市町村連絡協議会における
国土交通省の説明に対する見解について（千葉市長コメント）

本日、本協議会に出席し、国土交通省から、羽田再拡張事業に係る航空機騒音問題対策として、これまで要望してきた北ルートの高高度引上げ試行案が示されましたが、引き上げ高度幅が低く、これだけでは十分な対策とはいえないため、更なる高度引上げなど騒音軽減策を求めました。

一方で、国土交通省は来年3月の国際線3万便の増枠に対応するため、発着枠や飛行ルートの運用を柔軟化するとの説明がありましたが、これらの運用を許せば、市民にとって、ますますの生活環境の悪化につながり、到底受け入れられるものではないことから、断固反対したところです。

今後、本市としましては、当連絡協議会を通じて、運用の柔軟化には反対していくとともに、北ルートの高高度引上げの試行運用を早期に実施すること及び更なる高度引上げなどの騒音軽減策を図ること、さらに飛行ルートを首都圏全体に分散するための具体的な検討に着手するよう求める緊急要望書を国土交通大臣に提出する予定です。